

神戸大学生協 Go To Elect~食堂総選挙~

取り組み概要

日時：6月28日～6月29日
 場所：GI部室前・LANS食堂
 参加者数や組合員の反応：投票に参加したのは342人

背景や概要：参議院選挙に向けて、若者の投票率向上と選挙への興味を持ってもらう目的で企画された。また、神戸市選挙管理委員会と協力し、実際に使用する投票箱を使用した。

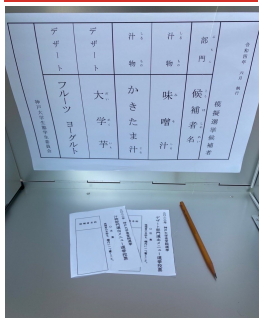


[平和]

世の中を変えるあなたの一票を

POINT.1

選挙をもっと身近に



「若者の投票率が低い」ということは、選挙における大きな課題の一つです。選挙をもっと身近なものにしたい、との思いでこの企画はスタートし、組合員に向けて「食堂のメニュー投票」という形で行われました。

また、投票箱・記載台については神戸市選挙管理委員会から貸し出してもらい、ブースは本物の選挙と同じものを作ることができました。この取り組みは地元の新聞やテレビニュースにも取り上げられ、大学生が行う選挙推進活動として注目を集めました。

POINT.2

不在者投票のススメ

住民票を移していない下宿生に向けてはSNSで「不在者投票」を呼びかけました。方法について詳しく説明し、学生委員が実際にやってみた実感などを発信しました。

SNSではほかにも、無効票の仕組みなど選挙に向けて知っておきたいことや選挙の候補者を選ぶうえでのポイント・参考になるサイトなどを紹介し、参院選に向けて学生目線での発信を行っていました。

そもそも…
不在者投票とは？



不在者投票とは、学業や入院等で、選挙期間中に住民票記載地以外の市町村に滞在している場合、滞在先の市区町村の選挙管理委員会に投票することができる制度のことです。みなさんが住民票を実家から移していない場合にも利用できる制度です。

住民票を移していない下宿生はこの制度を使うことができます！

POINT.3

未来に向けて



選挙管理委員会との協力や、学生自身が選挙の推進をすることに意義を見出し、企画作りを行いました。「投票企画を通して、生協に自分の声が届くことも知ってほしい」と話すのは企画責任者。選挙に向けた企画だけでなく、声を届ける企画にも応用できる可能性を示していました。また、参院選は3年ごとに行われていることから、準備もしやすく、3年後に同じような企画ができればとも話していました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
 ブロック学生事務局 [上木 太陽]
 Ueki.Taiyo@univ.coop

